



アンソニー准教授(中央奥)が見守る中、英語のスキットに挑戦する生徒たち

英会話 ゆっくりはっきり

田子高校国際・教養コースの2年生4人が1月27日、八戸学院大を訪れ、英語教育を専門とする同大地域経営学科のグレゴリー・アンソニー准教授から英語を学ぶワークショップを開いた。生徒たちは英会話のコミュニケーション能力を磨くとともに、異文化への

ズなどを楽しみながらアンソニー准教授とコミュニケーションを深めた。学生食堂での昼食の後は英語でのスキット(寸劇)に挑戦し、八戸から弘前に行くために切符を買いに来た人と駅員のやりとりを演じた。アンソニー准教授は「速く話すのではなく、ゆっくり、は

田子高国際・教養コース2年生

八学大でワークショップ

理解を深めた。

同コース2年生はこれまで県外

「ゆっくりと話を」とアドバイスした。

で英会話の宿泊合宿を行ってきたが、本年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、地元でネイティブの英会話や外国文化に親しむ機会を模索。同時に大学の雰囲気を感じようと、同大で英語ワークショップを行うことになった。

生徒たちは自己紹介の後、クイック

中村真理さん(17)は「質問の答えが分かってても英単語が出てこないこともあり大変だったが、楽しかった」と笑顔。西野ユウナさん(17)は「英語の聞き取りに必死だった。進学希望なのでリスニングを頑張りたい」と意欲を語った。

(千葉真由美)